

令和4年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

八街市教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 笹引小学校)

「八街市に関するアンケート調査」

八街市に関するアンケートを作成し、各学年や保護者へ紙で配布。
校内に回収ボックスを設置して、回収。
回収したアンケートを1人7～10枚ずつ担当し、内容を端末に入力。



メリット

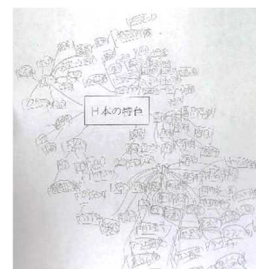
- ・ 端末上の付箋（協働編集機能あり）に入力することで、クラスで即時共有できる。
⇒ 協働編集により、作成時間の短縮及び作成のヒントが提示される。
- ・ 良い意見とそうでない意見を色で分け、視覚的に見やすく提示できる。
⇒ 話し合いを通して、意見が変われば色も変化することができる。
- ・ アンケート結果の即時共有及び意見交換による変化や集約が容易にできる。
⇒ 思考の過程や意見が変化していく過程、人数等を整理しやすい

※授業を通して、制作のルール（人の付箋は消さない等）を守って取り組めたり、集計結果を効率よく求めるにはどうしたらよいかを考えたりと、様々な教科の考え方の視点が入り入れられ、総合的によい授業展開ができた。

2. 中学校の学習における活用方法 (学校名: 八街中央中学校)

「日本にはどのようなイメージがあるだろうか」

イメージ図を広げ、作成したものを写真でアップし、共有する。
作成は、周囲の生徒と話し合いながら、紙で作成（アナログ）
作成途中はWEBで調べることができ、最終的には写真をWEB上で共有（デジタル）



メリット

- ・ 対話的、協働的な活動では、意欲的に調べたり、まとめたりする姿が見られた。
⇒ 生徒同士の関係の中で進める子はどんどん進み、立ち止まっている生徒への支援が手厚くできる。
- ・ アナログとデジタルのバランスがよく、停滞することなくしっかり取り組んでいた。
⇒ イメージ図を手書きすることで、思考内容を素早く図式化できる。また、インターネットを活用することで、視野を広げることができる。
- ・ 写真を撮り、端末を用いて共有することで、より多くの考えを知ることができた。
⇒ 一部の発表にとどまらず、全員との意見共有ができる。

